

活動報告

秋の県政報告会 市内9会場で行いました

この紙面でもお伝えした「さがみ野駅前交番」や「先端医療の取り組み」など、今神奈川県が行なっている様々な取り組みについて、できるだけ皆さんに身近な話題を集めてお話をさせて頂きました。多くの皆様にご来場いただきありがとうございました。



朝の駅頭にて

汗が額を流れる8月の暑さの中で始めた毎朝の駅頭活動も、今は体じゅうにカイロを張り付けて、寒さに耐える季節となりました。「おはようございます」「お気を付けて」と市民の皆様にあいさつをしながら考えることは、やはり自分自身の12年の来し方です。自分は十分に働けていると信じてここまで来ましたが、駅前ではとき折厳しいご意見も頂きます。もう一度、挑戦者だったころの自分にもどらなくては…そう思って朝の駅頭に立つ日々です。



神奈川県議会議員 長田 進治

おかげさまで県議会議員として三期選挙の歴史を歩きました。海老名市務区の方はいまもありません。長く務めた先も政治の世界で責任を果したが、この先も政治の世界で責任を果したくて、ここへ帰ってきました。十二年前の私は、十三万海老名市民の中でたった一人だけ選ばれた。議員として、やる気と責任を果す。今一度その時の思いに立ち返って、改めて一歩目から政治の仕事に励んで行きたいと思っております。

その一方で、私は五十三才になりました。一人の社会人として、これまで学びや経験が成果に結びつく「充実の世代」だと思っております。初心を忘れず、そして自信を持っています。市民、県民の期待に答えられるよう、これからも頑張ります。どうかご支援下さい。

初心と自信

ACTIVE

県政報告紙「アクティブ」Vol.36 2018年12月25日

神奈川県議会議員 **おさだ進治** 発行
おさだ進治事務所
海老名市大谷北1-5-27
Tel: 046-236-0505 Fax: 046-236-0508



開設へ！ さがみ野駅前交番

平成31年春から新たな交番の運用が開始されます。私が県議会議員に就任したのが12年前。そのときから一貫して要望を続けて来た「さがみ野駅前交番」の新設。しかし、交番を設置して欲しい！という要望は県警に対して県下全域から40ヶ所以上も上げられているのが実情です。近年、神奈川県警では交番の新設はほとんど行っておらず、一時はさがみ野駅前交番も実現困難かと思われた時期もありました。しかし、地元住民の皆さんによる活発な署名活動も行われ、そうした地域の皆さんの努力が実って今回の交番設置に至ったものです。



また併せて、駅の北側をはじめ、近隣の座間警察署や大和警察署との連携したパトロールの実施や緊急対応の強化がこの地域一帯の課題です。近隣市の県議会議員とも力を合わせて、こうした課題に取り組んでまいります。

初心にかえって

日頃から県議会議員、おさだ進治の活動に対して多大なご協力を頂いている皆様にご心より御礼申し上げます。おかげ様で、おさだ進治も県議会議員として三期目の任期を終えようとしています。この間、彼は予算委員長を始めとする要職を歴任し、県立えびな支援学校やさがみ野駅前交番の誘致など、確固たる実績を積み上げてまいりました。しかし、おさだ進治がこれからも活躍するためには政治家としてもっとも大切な足もとを、しっかりと見つめ直さなければいけない時期に来ていると感じています。

本人もそのことは胸に受け止め、毎朝の駅頭活動や県政報告会など初心に戻って活動を行っておりますが、「更に厳しいところへ自分自身を追い込む気迫を持って」と、後援会長として彼を叱咤激励しているところでございます。

皆さまにおかれましても、おさだ進治の更なる飛躍にご期待を頂き、より厳しい目でその一挙手一投足を見守って頂きたくお願い申し上げます。必ずやおさだ進治はその期待に応え、四度目のハードルを越えてくれるものと信じております。



おさだ進治後援会 会長
戸田 幸三

代表質問に立つ！ その成果を各メディアが報道

「8万人の県民が暮らす県営住宅では、今空き住戸が増えてしまっています。築40年を超える建物が多く、雨漏りや塗装のはがれた外壁といった老朽化が進んだ上、脱衣所も無く洗濯機を置くスペースも無い間取り、そしてエレベーターが無いことなど、根本的な解決策を示さなければ更に空き住戸が増えるばかりです！」

12月3日、県議会最大会派自民党47名を代表して、代表質問に立つ機会を頂きました。質問に向けて2か月に渡って調査や準備を進め、約2万文字16項目の質問原稿を書き上げました。

その結果、冒頭の通り懸案であった県営住宅の老朽化については「今後10年で28の団地を建て替える」という知事の答弁を引き出すなど、成果は大きなものがあったと感じています。

そしてこの成果は翌日の新聞紙面に4本の記事となつて報道され、更に去る12月19日にはテレビ神奈川にて録画放送が行われるなど、県民の注目を集めました。

医療ツーリズム 検討会議設置へ
県議会で知事が方針
医療目的で来日する「医療ツーリズム」の外国人向けに、保険外（自由診療）を提供する病院の新設計画が川崎市内で浮上し、病床を配置する方針を示した。新たな男性相談員を配置する方針を示した。新たな男性相談員を配置する方針を示した。

性的マイノリティ 県が相談体制整備へ
県は30日、性被害や性暴力などの被害者に対し、県議会本会議で長田進治知事（自民）の質問に答えて、性的マイノリティや被害者に対する支援体制を整備する方針を示した。新たな男性相談員を配置する方針を示した。

28県営団地建て替え 知事方針 空き家解消へ10年で
県営住宅の再生に向け、今後10年間で約28の団地を建て替える方針を示した。空き家の解消に向け、県営住宅の再生に向け、今後10年間で約28の団地を建て替える方針を示した。



医療ツーリズム 検討会議設置へ
県議会で知事が方針
医療目的で来日する「医療ツーリズム」の外国人向けに、保険外（自由診療）を提供する病院の新設計画が川崎市内で浮上し、病床を配置する方針を示した。新たな男性相談員を配置する方針を示した。

性的マイノリティ 県が相談体制整備へ
県は30日、性被害や性暴力などの被害者に対し、県議会本会議で長田進治知事（自民）の質問に答えて、性的マイノリティや被害者に対する支援体制を整備する方針を示した。新たな男性相談員を配置する方針を示した。

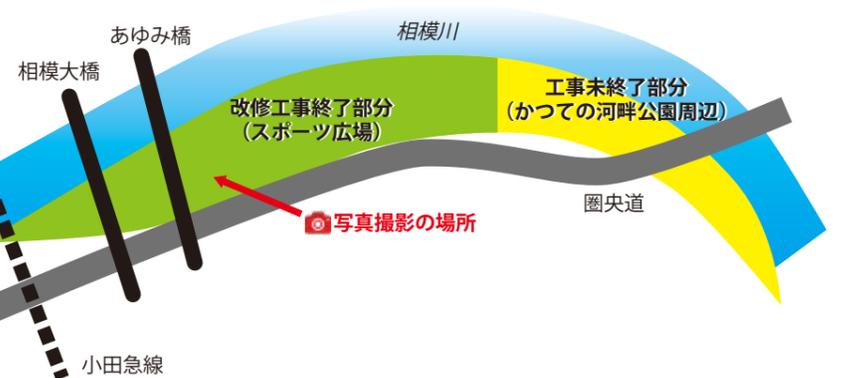
28県営団地建て替え 知事方針 空き家解消へ10年で
県営住宅の再生に向け、今後10年間で約28の団地を建て替える方針を示した。空き家の解消に向け、県営住宅の再生に向け、今後10年間で約28の団地を建て替える方針を示した。

相模川河川敷を有効利用！

あゆみ橋周辺の相模川河川敷について、水害対策のための河川改修事業が行われてきました。これによって出現した広大な土地について、私は市民の皆さんがスポーツやレクリエーションを楽しむことのできるエリアとして活用できるように、神奈川県や海老名市に提案してまいりました。その結果、土地の所有者である県は海老名市がこの土地を公共の施設として利用することについて了承する見解を示しました。海老名市からもこの土地の活用については県に求めて来た経緯もありますので、早速私は関係当局と協議を行い、この土地の有効な活用について具体化するよう求めました。



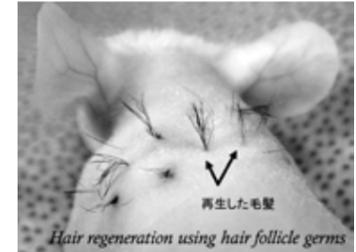
このように、神奈川県と海老名市、そして地域選出の県議会議員が一つになって、目の前にある課題に積極的に取り組んでいきたいと思えます。



みみよりの情報 神奈川がすすめる先端医療

海老名市の下今泉には県立の産業技術総合研究所（KISTEC）という施設があります。この機関では医療を始めとする様々な先端産業に関する研究開発が行われています。今回はそうした研究のうちの二つについて紹介させていただきます。

大量毛髪再生技術の開発
写真はマウスの体から人間の毛髪がはえている様子です。ヒトの髪の毛の毛根にある幹細胞を培養し、元の皮下にもどしてあげることによって自然に髪がはえるようになるという、横浜国立大学で開発された技術を実用化する取り組みが行われています。薄毛に悩む人には朗報ですが、これは病気を治すための「細胞再生医療」につながる大切な研究の一端です。



貼るだけインシュリン注射
糖尿病の方が日々の暮らしの中で使用するインシュリン注射。この負担を軽減するために開発されているのが、写真の手のひらの上に乗っている小さなものです。ほとんど痛みを感じない針のついたこの物体にはインシュリンが入っており、身体に貼ることでこの物体が血糖値を感知し、自ら判断して必要な時に体内にインシュリンを注入してくれるというものです。一度貼れば一週間は効果が持続するものの開発を進めているとのこと、一日も早い製品化が望まれます。



“ビッグレスキューかながわ” 海老名で開催

去る8月26日、神奈川県全体の総力をあげた防災訓練「ビッグレスキューかながわ2018」が海老名市の県立三川公園にて実施されました。警察や消防、民間ボランティア、そして自衛隊や米軍までもが参加して行われた訓練は、まさにビッグレスキューの名にふさわしい大規模なものでありました。

その一方、他会場では多数遺体の収容施設設置訓練なども行われており、それはとてもリアルなものでした。「もし私たちの街でこんな光景を目にするようなことになったら…」改めて大規模災害の恐ろしさと、日頃の備えの大切さについて深く考えさせられる訓練となりました。

